

児童・生徒のための通学路等における『安全マップ』づくり

学校の管理下などで発生する子どもの事件・事故が大きな社会問題となっています。和歌山県教育委員会では、子ども自身が危険を認識するとともに、回避できる資質や能力をはぐくむ「安全教育」は重要であると考えており、その一例として児童生徒による「安全マップ」づくりを推進しています。

安全マップを作成する目的は

安全マップとは通学路や地域などに潜む、犯罪が起こりやすい危険な場所や交通事故の発生しやすい場所などを地図に書き込み、子どもの登下校時や生活の中での犯罪被害や交通事故を回避する能力を養う。

安全マップを作成するにあたって

1. 作成や活用の機会を工夫する

安全マップづくりでは、各学校の実情と子ども一人ひとりの通学路の実情に応じた指導が必要です。

たとえば以下の場面などを活用することが考えられます。

- (1) 学級活動・総合的な学習の時間などで作成し、指導する。
- (2) 作成した安全マップは、児童会・生徒会活動等で発表会を行ったり、家庭で保護者と安全確認を行ったりする。
- (3) 安全マップ作成では、子どもたちが互いの情報を共有することも大切です。

2. 安全マップは、発達段階や地域の実情等を考慮する

マップを作成する範囲については、以下の地域が考えられます。

- (1) 学校の周辺
- (2) 自分の家周辺
- (3) 自分の通学路周辺

安全マップ作成上の留意点

- (1) 地域の警察署や防犯に関する関係機関などの情報や意見を参考しましょう。
- (2) 不審者による被害が発生した場所にばかりにとらわれると、特定の人や地域などに対する偏見につながりかねません。
指導する際には十分な配慮をお願いします。

安全マップの検証（フィールドワーク）

安全マップが作成できたら、いよいよ校外に出て、現地で危険箇所を調査を行います。この場合、子どもたちがグループで確かめたり、保護者や地域の人と一緒にすることも効果的です。子どもたちがグループを編成する場合、同じ方向に下校する子どもでグループを作ったり、さまざまな学年を組み合わせたグループを作ったりして、子どもたちがそれぞれの危険と考えられることを共有することも大切です。

学校のねらいや子どもの発達段階を考慮してグループ編成にあたって下さい。また、保護者や警察官などの協力を得てフィールドワークを行うことも場合によっては効果的でしょう。

フィールドワークとその留意点

- (1) 校外での活動なので、交通事故や健康対策などには十分配慮しましょう。
- (2) マップの作成にあたっては、児童生徒が実感を持って理解できるように、児童生徒自身による写真やイラストなどを活用することは重要ですが、個人のプライバシーに関わるものには十分な配慮をお願いします。
- (3) フィールドワークを行うにあたり、きしゅう君の家（子ども110番の家）を確認していくことは大切なことです。安全マップへの記入は不審者による被害に対して効果的と思われます。

発表会の開催

各グループの作業が完了したら発表会を開きましょう。グループが調査してきた部分的な地域も、複数の発表を行うことにより校区全体へと広がっていき、地域に対する危険箇所への認識が高まります。

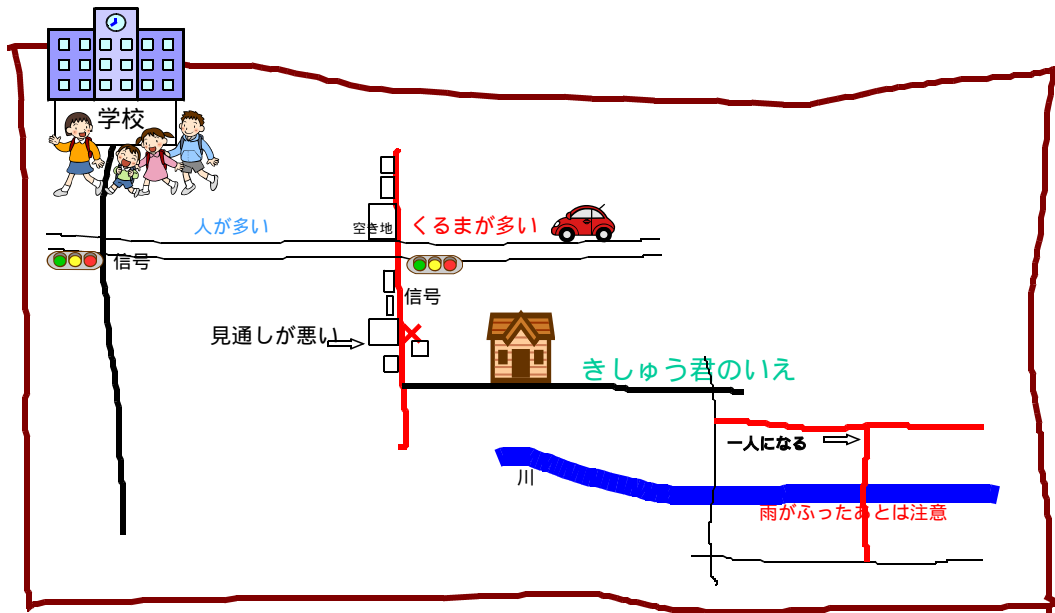
安全マップなどの安全教育を推進することは、子どもたちが実感を持って危険な場所などを認識することができるようになります。

また、知らない土地での犯罪被害防止に役立ったり、大人になったときに地域の安全や治安維持に努める事が考えられることから、学校などにおける安全教育を推進していただきたいと思います。

参考文献

- 文部科学省「登下校時における幼児児童生徒の安全確保について」平成17年12月6日
- 文部科学省「不審者侵入時の危機管理マニュアル」平成14年12月
- 小宮信夫著「地域安全マップ作成マニュアル」東京法令出版株式会社

通学路の『安全マップ』を作ろう



(1) 用意するもの

- ・大きな白い模造紙または拡大した地図
- ・セロハンテープや両面テープ、のり、付箋、修正液
- ・はさみ、カッター
- ・マジックや色鉛筆（できるだけたくさんの色を用意）

(2) マップの作成をしましょう

画用紙、地図を用意しましょう。

画用紙に学校と自宅を書き込みましょう。

通学してくる道を確認しましょう。

鉛筆で軽く記します。

通学の道で、車の多いところには、赤い線で道を描きましょう。

通学の道で、車の少ないところには、緑の線で道を描きましょう。

通学の道で、見通しが悪いところには、xを赤で記しましょう。

通学の道で、木や草が茂っているところには、を赤で記しましょう。

通学の道で、川など危険なところには、を赤で記しましょう。

通学の道で、人通りが多いところは、青の線で描きましょう。

通学の道で、人通りが少ないところは、赤の線で道を描きましょう。

通学の道で、「きしゅう君の家」に を緑で記しましょう。

通学の道で、店や民家で逃げ込めそうなところには、を緑で記しましょう。

その他、必要なところを相談して記号や線で記入しましょう。